



2021

おめでとうございます  
おめでとうございます  
おめでとうございます

## パシオン通信 新年号



令和3年  
元旦



代表取締役 H・H

明けましておめでとうございます。皆さまそれぞれ気持ちを新たに、良い年を迎えられたことと思います。

2020年は、全世界的規模の新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動及び日常生活への影響は計り知れず、今なお大きな脅威となっています。この1年で我々の生活、働き方自体も変化が求められるなか「新しいワークスタイル」が定着しつつあります。

対面での接触を避け、通勤リスクを回避するためにテレワークが導入され、時差通勤、フレキシブルな勤務形態への対応、顧客対応、勤務体制を時限的に導入し、業務フローの見直し、テレワークのための技術の積極的な取り組みを進めてまいりました。「新しいワークスタイル」が定着するなかで第25期の業績は、皆さんの大変な努力により、対予算比で売上、経常利益ともに予算達成に向かって推移しています。

今期末まで残り3ヶ月間の頑張りに期待しています。

なお、緊急事態宣言期間終了とともに事業継続の優先度を上げ、通勤・勤務形態の制限を徐々に緩和しましたが、最近になり第3波として大都市を中心に新規感染者数急増しており、再度在宅率の引き上げや時差通勤を促進する方向に向かっていきます。

感染拡大防止、特に3密を回避するためにあらゆる場面においてソーシャル・ディスタンスを意識し対応して行きましょう。

### 感染拡大防止策の確認

- 1、通勤・勤務  
顧客との調整も必要ですが、在宅勤務の実施や混雑を回避するための時差出勤の推奨
- 2、マスク着用、手洗い・消毒の徹底  
通勤中、就業中はマスク着用の徹底し、手洗い・消毒液の利用等、感染防止に努める。
- 3、会食や会議などの密を避ける  
多人数や不特定な人が集まる場所を避けるように心掛ける。また、会議などは可能な限りリモートで実施する。

本年はコロナ禍が終息し、皆様方が益々活躍できること、そして、ご家族にとってよい年でありますように祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



### 目次

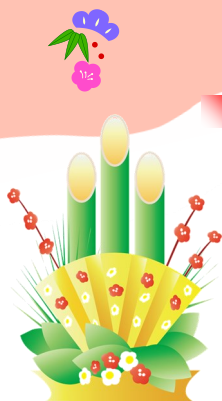
年頭の辞	1
私たちはどう生き残るか	2~3
ディスタンス	3
テレワークのその先	4

### お知らせ

毎年忘年会で渡していました宝くじを親睦会幹事より預りましたので、一枚同封しています。

新年の運試し。1等当たりますように〜。





# 2021

Happy New Year

## 私たちはどう生きのこるか システム開発部 I・H

Iです。実家の方では雪が降っているという事で、神奈川はまだ暖かいのだなと思いつつも肌寒さに朝は布団から出るのが億劫に感じている今日この頃です。昨今のウィルスがまた猛威を奮っていないか懸念されますが、自身も含め皆さまが健やかに過ごしてきている事を願っております。

2020年は、ほぼ通年新型コロナウイルスの影響であらゆるイベントが中止となり外出にも自粛を求められ、普段より思い出の少ない年であった様に感じております。これは非常に悲しくもあり、精神的な負担も大きい事態です。また、時差出勤・テレワークなど半ば強制的に変化を求められる機会でもありました。日頃から抱える不平不満、据え置かれていた問題点を声高らかに変革を求めるのに、これほどどうってつけの機会はないのでしょうか？私にはあります。

一つに、“機会”です。一社員の声を拾い真摯に問題に向き合える場。その様な場が、わが社の中では得難い現状なのです。数回グループ会議と銘打ってそれに類する場が開催された事もありますが、上手く行かず未だやり方を模索中で、それ以前は類似の場が作れていないのです。しかし、社員にはそれぞれ思う所、会社に求める改善点が少なからず存在しそういった場の存在そのものが会社への社員の定着を支えるものでもあります。私が入社する以前は、個人面談なども存在していた様ですが廃止されたと聞きます。不要なものを廃止するのは良いですが、必要なものを廃止するにはその代替などあって初めて廃する事が出来ると考えており、個人面談の復活も以前より強く要望しておりました。この件は、前向きに検討頂けている様ではありますが具体的な期日なども含め明確に公表して頂けると有難いところです。

個人的にわが社が抱える問題は多々ありますが、もう一つ大きなものを提示するとすれば“関係”でしょう。派遣という仕事の性質上、仕方のない所もありますが「自社の社員との繋がり」が正直、希薄であると考えます。しかし、繋がりとは言ってもそれは何度飲み会を開催しようと社内イベントで親睦を深めようと、それはそれで大切ですが根本的に進展は無いと私個人は考えております。「信頼」とは、とある作業を任せて/

任されてそれをこなす事。迷惑を掛けて/掛けられて、その積み重ねでその人の能力が分かる事。それを以て、何を任せられて/何を相談して/どの人となら何を成せるか判断できるものと考えております。表面上のコミュニケーション力だけでは、「ただの気の良いおじさん」以上に私を知って貰う事は出来ないのです。

そして私は、惜しむらくも社内の人間と一緒に働ける機会は多くなく他に頼れるほどの社員を知らず、恐らく私の仕事ぶりを知る社員も社内には居ないでしょう。これは、私が入社以来ほぼ一人で外部に出続けている事の弊害とも呼べるべき事態です。都合もあるでしょうが、一社員としてはこの様な状態で、私自身が正当に評価されていると言われるれば、それは疑わしむを得ません。難しい問題ですが、改善手段が無いわけではないと思っております。

方法の1つは増員。同じ職場にわが社の社員を増員しグループに発展させて行ける事が何より利益にも繋がる最良の手です。今の職場でも一目置かれる程度にまで信頼を得る事は出来ましたが、機会に恵まれず残念ながら未だ一人を続けております。現場では、それなりに増員は可能とは言われますが、スキルが見合わないのはやや仕方のない所かもしれません。私は、ある程度の社員の育成も可能と自負しているのも多少はフォローできると考えてもおりますが…。

もう1つの方法はローテーション。増員が叶わないのであれば、社員のローテーションを行うべきと私は考えます。引き継ぎなどで、社員に負担は生じますが全体的に見ればお互いに利はあるものと考えます。私も今の現場を離れ、全く新しいところへ移る事に抵抗がないわけではありませんし、客先にもわが社のサービス品質の低下を懸念されてしまうのは避けられないと思います。しかし、仕事は本来専属化すべきではなく、退社・休職のリスクは同じだけ常に存在し得るものです。私が明日突然事故にあっても仕事を回せるだけ、設計書・資料を用意しコードは可読性を高め、規約を作成しそれに則り、誰に引き継いでもそれが継続できる仕事を常日頃から行うべきなのです。ローテーションを行う事で、もっと適した仕事が見つかる可能性もあります。或いは、新しい仕事の開拓に繋がる事もあるかも知れません。



### 前ページより

前任では提案できなかった事を提案し、客先から増員の話を引き出すことも出来るかも知れません。

或いは、ローテーションを行う事でわが社の社員の全体的な技術力を高さを知らしめる事で、客先の信頼を得る事も出来る可能性があります。わが社の評判について私以外の担当と前置きされた上で悲しい話を聞いた事もあり、わが社の評価はまだまだ改善すべきなのです。そして社内育成に貢献できるのもローテーションによるメリットに他ならないのではないのでしょうか？

たとえ、お互いわが社から1人しか出向していない職場であっても、少なからずお互いに対する引き継ぎの教育は発生するのですから。引き継ぎ後も、お互いにフォローが発生すれば仕事を行う上での「信頼」の関係構築にも繋がるのです。

さて、随分と偉そうに語らってしまいましたが、本来この様な場で語るものでは無いと理解しております。

「コロナ禍を理由に、本来行うべき事も停滞してしまうのは良しとしないので頂きたい」

それをお伝えしたい意味で記載させて頂きました。本当に真摯に取り組んで頂けるのであれば、適切な場を以て掘り下げて行けば良いのですから。

この度は、私なりのコロナ禍中のストレス発散の一つの方法をこの場でお披露目させて頂きました。

お酒の場で会社の愚痴を言っているオジサンのアレ程度に聞き流して頂けると幸いです。

以上、Iでした。皆さまに置かれましてはご家族・親しい方々も含めて大事にお考えの上お過ごし下さい。

## ディスタンス システム開発部 M・G

新型コロナのおかげで混乱を極めた1年が過ぎる。結局この感染症は、2019年の12月までに行くつかの国で感染例が発見されていて、2020年以降の武漢が世界最初の発生ではないらしい。

日本の場合、人口とワクチン接種の進め方から試算すると収束にはまだまだ1年以上かかりそうだという話を聞いたが、これまでのたった1年でも世の中はずいぶん変わった。自分の価値観も変化させられた。

たとえば、地元の街の古くからのお店のいくつか、一つ一ついつのまにかなくなっていった。何十年もかけてここまでやってきたはずなのに、こんなに簡単になくなっていくことに驚いた。

「マスクをしない自由」を掲げて騒ぎする人々の姿を海外のニュースで見て、自分のせいで人を苦しめることになっても平気な自由を堂々と主張できる人びとがいることに驚いた。

なにより、世の中がこんなにたやすく変わってしまうことに驚いた。

私にとっての2020年を一言で表現するなら「ディスタンス」かなと思う。

それは、ソーシャルディスタンスという感染防止の境界線になる物理的距離を表す言葉からであるけれども、実際には他人との心の距離も離れてしまったという感覚。

それはどこから来るのかというと、一つは、この新たな感染症に対してもものすごく気にして神経質になっている人も多く、命に係わるナーバスな問題だけに、人と接するのに必要な新たな尺度が生まれ、これまでのように気安くはつきあいにくくなったこと。

一つは、人と会うことが封じられて、音声だけ・文章だけのコミュニケーションが推奨され、いつの間にか直接会わない人とはどんどん気持ちが遠くなっていくこと。表情や声音や身振り手振りが伴わないと、相手の言葉が冷たく響いてしまうことはないだろうか。また、よく知らない相手をもっと理解したいとき、どうやったら機会をもてるだろうか。

人類の歴史の中で疫病や戦争は繰り返し、それでもいつも立ち直ってここまでやってきた。新型コロナもいつかは収束するのだろうけれど、その後、世界の様相は変わったものになる。

失ったものは戻らない。

けれど、そのかわりに新しく生まれるものがたくさんあるだろう。

私たちはその変化にどれだけついていけるだろう、そんな試練の2021年だ。







## テレワークのその先 システム開発部 Y・T

昨年新型コロナウイルスの感染拡大に伴い嫌が応にも生活が一変した一年でしたね。

皆さんの中にもテレワークの指示を受けている方も居られるのではなでしょうか。

かくいう私も在宅9か月を過ぎました。

当初は全てが手探りでPCのリモート接続も不安定で皆が戸惑っていましたが、

いざ始めてみると静かな環境で集中出来るので仕事も捗りし、ミーティングもWeb会議で問題なく行え、うっかりすると休憩も取らずに仕事にのめり込む事もしばしば。

逆に今まで通勤に要していた往復2時間以上の時間と出勤前の慌ただしい朝の準備にかかる時間を別の事に割り当てられる為、今では有難く感じています。

しかし何事にもデメリットは有り・・・

在宅勤務を先行導入した人からの社内チャットで

「【悲報】在宅勤務により毎日500g体重が増加」の知らせに職場に戦慄が走ったものです。

考えてみれば私の場合でも通勤時に往復で500段以上の階段を上って下りて、速足で40分の歩行、1時間半電車で立ち続けバランス運動をしていた訳ですが、それがいきなりゼロに。結果は明らかです。この運動量をスポーツジムで消化なんてとても無理です。しかも毎日ですよ？。日本のサラリーマンの健康は通（痛）勤で守られていたのかも知れません。そして案の定、人間ドックでは残念な数字が結果に並び、先生にみっちりとお叱りを受けました。

一方、管理面では「稼働が把握できない」「コミュニケーションが取れない」「セキュリティが不安」「コストが」「いや、絶対サボるでしょう」…と、懐疑的だった経営者目線も、いざ蓋を開ければ案外社員は真面目だし仕事の進捗も出勤時と変わらず、案外イケルじゃん？と手ごたえを感じたのではないのでしょうか？。それどころか年間何億・何十億円単位のオフィス維持費の削減や莫大な定期代・交通費・出張費の削減、働き方改革の促進など計り知れないメリットが見えてきた訳です。

多少のパフォーマンスの低下なんて微々たるものですよ。セキュリティに不安は残るものの、テレビ会議中にうっかりパンツ姿を晒す事案以外は特に事故も無く、今後はますます導入企業も増えて行くのではないのでしょうか。もう既に郊外の住宅の人気の上がり、オフィス面積の縮小

を考える企業が増えているとかいないとか。

で、最近ふと思うのです。ここからはチョット近未来の話に。

ネットワーク越しのビジネススタイルが定着し、ほぼ決まり切った内容のメールやチャット、事務処理も電子申請とシステム上での自動処理で仕事が完結して来ると「別に相手が人間でなくても良いのでは？」

・・・と。

すでに経理や総務などはアウトソーシングや一歩進んでクラウドサービスが登場していますし、これからAI技術が進歩すると今まで生身の人間で無ければと言われていた仕事も安価なクラウドサービスに置き換わる時代が来るのでは？と思ってしまうのです。

さらに、経理や営業・マーケティング・戦略・企画など別々のクラウドサービス間で連携できるAI間の共通言語的な物が登場したら、勝手にAI同志で連携して仕事を進めてくれる様になり、人間を雇うよりも「早い」「安い」「正確」と良い事尽くめになるのでは？と。

企画立案や開発部門など人の経験やアイデアが求められた仕事でさえもビッグデータとAIを駆使して過去の事例、ニーズや需要予測を駆使すれば、それなり仕事が出来てしまう気がするのです。今や人の感情や芸術もAIで分析できる時代ですから。

そんな背景から、現場での作業が必要な業種を除き、これからの企業は広大なオフィスは不要。社員も最低限のみ。ネットワークとAIクラウドサービスがあれば完結してしまう。そんな寂しい未来が来る予感がするのです。

この先、ますます企業での社員の、というか人間の存在価値が問われる時代が来るかもしれませんね。とりあえず今は日々の運動不足と体調の管理に気を付けねばと思うのでした。

よし！ジョギングする！・・・明日から！・・・晴れたら・・・寒く無ければ・・・

本紙はパシオン社員の親睦を目的にした社内報です。パシオンをご理解下さる関係者に限定配布しております。

本趣旨にもとるご利用、お取り扱いにご容赦いただきますようお願い致します。